

平成28年度 明倫小学校 第2回学校関係者評価委員会

平成29年1月17日（火）開催

■学校関係者評価委員

榮 中	明倫小学校PTA会長
今田 秀子	明倫小学校PTA副会長（欠席）
三上智奈美	元明倫小学校PTA副会長 主任児童委員
村田 明美	萩市児童クラブ指導者 萩市人権擁護委員
富川 芳人	元県PTA連合会会長 元明倫小学校PTA会長
岩崎喜一郎	元明倫小学校PTA顧問（欠席）
大嶋 栄	前明倫小学校PTA会長
石丸 智子	萩市立児童館 NPO萩子どもセンター理事
梅地 信吾	元明倫小学校長 元児童相談所相談員
吉賀 博史	元明倫小学校長 退職校長会萩支部長
村岡 健二	萩東中学校教頭
荒瀬 龍治	萩西中学校生徒指導主任（欠席）
河名 哲雄	萩幼稚園園長
椿 義憲	明倫小学校 校長
中谷 仁美	明倫小学校 教頭
安東 知彦	明倫小学校 教頭

■本年度の重点目標について

キャリア教育の推進	松陰教学、志教育、ふるさと学習の推進
学力の向上	日々の授業の充実、家庭学習の習慣化
豊かな心や健やかな体の育成	いじめのない楽しい学校づくりの推進 特別支援教育の充実 規範意識の醸成及び基本的生活習慣の健全化
地域とともにある学校づくりの推進	チャレンジ目標「明倫小ABC」の推進 コミュニティ・スクール及び地域教育ネットの推進 幼保・小、小中連携の充実

■学校関係者評価委員会での主な意見

○ 明倫教育プロジェクトについて

【重点目標】

『松陰教学に基づくキャリア教育の推進』

- ・教職員が工夫し、地域と連携した活動を取り入れているところが良い。
- ・ふるさと学習の取組を親に伝える活動を取り入れると良い。
- ・親子史跡めぐりなどに取り組むと親子で一緒に学習する機会ができる。

○ 学力向上プロジェクトについて

【重点目標】

『授業研究・授業評価を通じた授業改善』

『家庭学習の充実』

- ・全国学力学習状況調査の結果から見ると、成果が上がっている。
- ・授業でかかわり合う時間を確保したことで、児童が自分の思いを伝えられているという自覚をもっている。
- ・児童の肯定率は高くがんばっているという自覚があるが、保護者の肯定率が低い。
- ・態度、時間、内容と保護者の求める家庭学習の姿を学校が把握する必要がある。

○ 心の教育プロジェクトについて

【重点目標】

『あいさつ運動の推進環境美化の推進』

『環境美化の推進』

- ・コミスクだよりで児童の取組がよく分かった。
- ・朝起きたらあいさつをする、寝る前にあいさつをすることを呼びかけると良い。
- ・子供たちの意識は高まってきているので、大人が褒め言葉で返す場面を増やしたい。
- ・児童にしっかりと意識付けしていく取組が必要である。めあてをもたせ、しっかりとした振り返りを学校はもちろんのこと家庭にも呼びかける。
- ・より具体的なめあてで取り組ませることが大切である。

○ 体づくりプロジェクトづくりについて

【重点目標】

『児童が、メディアに関わる時間を現状の3分の2に減らす』

『食事の所作を整えて食べている児童を80%以上にする』

- ・学校だけでなく家庭でも、メディアと姿勢との関係に危機感をもたなければいけない。
- ・保護者の意識を変えないと難しい課題といえる。
- ・姿勢やメディアについて委員会活動が中心となって取り組んだ内容を積極的に全校児童や家庭に発信していくと良い。
- ・家族が揃って食事をしているのか疑問を感じる。親も一緒に食べて、正しい手本を見せることが大切である。

○ 環境クリーンプロジェクト

【重点目標】

『児童が黙って一生懸命に清掃に取り組む』

- ・掃除支援ボランティアの取組が良い。
- ・オープンスクール等で一緒に掃除をする機会を増やし、保護者へ呼びかける。
- ・環境整備に向け、花一輪運動なども効果的である。